

大鹿村議会だより

第54号
令和7年7月号

令和7年7月15日発行



議長：河本明代



副議長：田代久夫

総務社教
常任委員長
伊波ゆかり



産業建設
常任委員長
松澤武裕



5月の臨時議会で申し合わせによる構成替えがありましたが、正副議長、総務、産建両常任委員長、副委員長とも前任者が再選されました。議会運営委員長、南信州広域連合議会議員、下伊那北部総合事務組合議会議員についても変更ありません。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

5月臨時議会・6月定例会

- 目次 … P.2～P.3 さくら基金条例の制定、補正予算ほか
P.4 一般質問 リニア遅延への対応は？ 加藤議員
P.5 一般質問 廃止代替バスについて 伊波議員
P.6 議会活動・みんなの広場

6月定例会

令和7年6月大鹿村議会定例会が6月6日から6月16日までの11日間の会期で開催されました。今定例会に提案された議案等は報告1件、付議事件7件、議員発議1件で、すべて原案どおり可決されました。請願・陳情は請願2件で、1件は採択、1件は継続審査となりました。

報告

報告第1号 令和6年度大鹿村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

付議事件

議案第1号 大鹿村さくら基金条例の制定

▶桜の植樹や維持管理に充てるための基金の設置を定める条例です。

議案第2号 令和7年度大鹿村一般会計補正予算(第1号)

▶公用車のNHK受信料113万円、デイサービスセンター備品212万円、農業振興費備品購入費231万円、農業人材確保対策補助金315万円、林道維持工事943万

円、地区館、交流センター改修工事594万円など5,632万円を追加。

議案第3号 令和7年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議案第4号 令和7年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第1号)

議案第5号 令和7年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第6号 大鹿村国民健康保険税条例の一部改正

議案第7号 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

請願

- 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書
- ▶採択。
- 「カリキュラムオーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願書
- ▶新しい言葉であり、内容が十分把握できていない。もう少し調査すべきとの意見があり継続審査となりました。

5月臨時議会

令和7年第2回臨時議会が5月8日に開催されました。国の法改正に伴う条例改正4件、事業実績に伴う補正予算5件の専決処分の報告があり、すべて承認されました。

報告

報告第1号 大鹿村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例等の一部改正

報告第2号 特別職の職員で非常勤の者の報

酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

報告第3号 大鹿村税条例の一部改正

報告第4号 大鹿村国民健康保険税条例の一部改正

報告第5号 令和6年度大鹿村一般会計補正予算(第9号)

報告第6号 令和6年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

報告第7号 令和6年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第6号)

報告第8号 令和6年度大鹿村介護保険特別会計補正予算(第4号)

報告第9号 令和6年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

議員発議

発議第1号 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書

総務社教常任委員会

教育委員会

Q市場神社は神社の持ち物だと思うが、樹木診断と伐採料は村で出すのか？

A神社の所有だが、10月の歌舞伎定期公演があるので村で払う予定です。

住民税務課

Qゴミの集積場の修繕は全て終わったのか？

A要望のあったものは終わっています。

Q計画表作成とは？

Aゴミの出し方のガイドブックを作成します。

保健福祉課

Q社協オープンに200万円とあるが、高額すぎるのでは？

Aガスのスチームオープンで自動洗浄や乾燥機能付きで利用者と支援ハウス、ひまわり会等で使用するため、60食分同時に調理できるものなので高額になります。現在ガスコンロと一体型なので、コンロも購入予定。

Q常に使用するの？

A20～30食くらい。

Qあまり大きいものを買って、使い勝手が悪いと困るので、もう少し小さいサイズのもので、使う人の意見を聞いて購入の検討を。

A小さいものにして、今後必要であれば二段重ねて使えるようなものを検討します。

産業建設常任委員会

○農業振興費備品購入費(231万円)について

Qラジコン草刈機をもう1台買うということだが、2台購入してどのように活用するのか。



A県の交付金(水の恵みを未来へつなぐ交付金)が付いたことが大きいのですが、この交付金は今年度で終了となるため計画しました。2台とも交付金の対象です。試験的に1台では多くの方の利用ができませんし、配備に期待される問い合わせが多く、2台目を計画しました。

Q使用してみたか。大鹿村の地形に合うのか。

A狭小農地や不均一の農地が多く、30度の急傾斜まで使用できるので、大鹿村に合うと思います。

昨年、大西公園でデモンストレーションを行い、産業建設課の職員が使ってみました。ハンマーモアなので、木の枝まで処理していく能力があり、操作性も良いと思います。また、農地以外の道路の草刈り等、幅広く利用できます。

また、使用については、当初、営農センターの方がオペレーターとして使用し、慣れてきたら貸し出す予定です。

Q高額な機械なので、貸し出す場合、利用料についても検討をお願いしたい。

A1日単位または半日単位で考えています。利用料等については検討していきたいと思っています。

リニア工事遅延に対する村の対応

小浜線ダンプカーの恐怖心から 車で「下」に行けなくなったとの声



加藤哲夫 議員

JRにもっと強い姿勢で

質問 リニア中央新幹線各地での工事についての新聞報道が多くありましたが「飯田市新駅周辺整備の事業費が149億円と、開業の遅れに伴って58億円増えるとする見通しを明らかにし、JR東海に対し、増加分の一部の負担を求める」との報道が注目されました。大鹿村もJR東海にもっと強い姿勢で負担を求めて行くべきでは。

村長 JR東海とは商工観光事業者との間で協議を立ち上げており検討を進めています。また、大鹿村の将来的な構想について協力をしてくださる旨、回答をいただいています。完成が延び、具体的に経費が増大する定量的な負担増が出てくれば、村の方からJR東海側に負担を求めていくことは今後あり得ますが、現状としては今の対応とさせていただきます。

質問 青木川工区の工事関係者の対応と比べてJR東海本体は非常に冷たい印象があります。JR東海と意見を戦わせる中で『大鹿村は黙っていないぞ』という意気込みが必要だと思いますが、いかがでしょうか。

村長 敵対するという方向性でなくてJR東海との連携協力を結びつけて大鹿村の利益につながることを大前提であり検討、協議を行い具体的な実になる物を出していきたいと考えております。

安心して運転できる道路改良を

質問 小浜線の完全二車線化がかなわないことが出発点だと思います。以前は行けたのに最近は恐ろしくて行けない。この現状をJR東海に強く伝え、安心して運転できるよう速やかに解決することが元の生活を取り戻すことにつながると考えますがいかがですか。

村長 住民懇談会の折に、議員から指摘いただいたとおりのご意見をいただいております。ご高齢の皆さんにとって不安と恐怖を与える結果となっているということは、大変重く受け止めています。トンネル化や拡幅改良などが行われ、以前と比べ安全で走りやすいことも事実です。運転者の高齢化が進み以前のような運転ができなくなっています。元の生活を取り戻すことにできる部分とできない部分がありますが、現状の環境の中で最善を尽くしていきたいと考えています。

質問 地盤沈下、地下水の水位低下、要対策土の問題が、大きさから言えば主役で、大鹿村の問題は脇役かもしれませんが、道路改良が進み、リニア工事が大団円でみんなそろっての千秋楽を迎えるべく、村長の意気込みを今一度お聞かせください。

村長 道路が良くなり以前とは天と地ほどの差がある環境の変化です。とはいえ、大型車両のたくさんの通行が住民の皆さんに脅威を与える結果となっていることは事実です。大鹿村にとっては最重要な課題としてとらえJR東海と協議、また安全対策を求めていきます。

村営バス導入の検討経緯について 廃止代替バス運行について



伊波ゆかり 議員

路線バス村営化の検討経緯は？

質問 路線バスの村営化について、村で過去に検討された内容と結論は？

村長 路線バスの運行には国土交通大臣の認可が必要であり、専門的なノウハウ、人材確保、施設・車両整備などの面から、ハードルが非常に高いと判断しました。

現在、伊那バス(株)に運行を委託しており、不採算路線であるため、村から廃止代替バス補助金を補填することで運行を維持しています。伊那バスは、車両や運転手を多数抱え、柔軟で安定的な運用、長年の経営ノウハウがあることが利点です。

ですので、現時点では村営化の目途が立たないため、行政内部会議、大鹿村公共交通会議、行政評価委員会で現状維持の方針が同意されています。



廃止代替バス補助金と今後の方針

質問 廃止代替バス補助金は令和2年度の1,938万円から、令和7年度予算では3,106万円に増加しています。その財源と、1便あたりの補助額は？また、今後も9便の路線バスを維持する方針ですか？

現状維持の方針

村長 この路線バスの財源の約8割は国庫補助金と特別交付金で賄われ、残りの約2割(令和7年度予算で621万円)は村の自主財源です。バスの便数を増やす場合、全体の経費が増額となるため、1便あたりの補助額を単純に算定することはできません。現在の便数維持については、大鹿村公共交通会議で同意されています。

効率的な運行と財源負担軽減を

質問 過去5年間の路線バスの乗車数は昼間の時間帯の利用者が少なく、特に15時台の便は月平均9.92人でしたが、本当に現状通り9便の維持が必要でしょうか。

例えば、コミュニティバス化、予約制、曜日限定運行、小型車両での委託、「いかまいカー」の活用など、利便性を確保しつつ支出を減らす努力が必要と考えます。村長のお考えは？

適宜検討

村長 地域内の公共交通網の確保は、単純な利用頻度やコスト意識だけで考えるべきではない部分もあり、高齢者の通院や観光客の利用を支えています。ご提案いただいた様々な方策は、今後の検討材料として俎上には載せていきたいと考えていますが、現状は現在の体制を維持する方針です。今後も適宜検討していきます。

4～6月の主な議会活動

- 4月12日 大鹿さくら祭り(22日片付け)
- 4月23日 下伊那北部正副議長会
- 4月24日 活性化プロジェクト委員会(毎月)
- 4月25日 全員協議会
- 5月3日 大鹿歌舞伎春の定期公演
- 5月8日 臨時議会
- 5月8日から始まった住民懇談会に参加
- 5月12日 中部伊那正副議長会
- 5月20日 開山式
- 5月21日 下伊那北部事務組合臨時議会
- 5月23日 南信州広域連合臨時議会
- 5月26日 全員協議会
- 5月27日 全国正副議長研修会
- 5月28日 国保運営協議会
- 5月29日 夏祭り実行委員会
- 6月2日 地域公共交通会議
- 6月6日 定例議会(～16日)
- 6月6・23・24日 社協 評議員会・理事会
- 6月12日 山村留学推進委員会
- 6月25日 大鹿歌舞伎保存会総会
- 6月25日 美しい村づくり活動

役場、飯田建設事務所、JR東海、鹿島JV、飛鳥JVの皆さんのご協力をいただき、30数名の参加で、由井神付近の歩道の草刈り、道路ぎわの土砂の撤去作業を行いました。



議会傍聴の感想

文満：坂井直樹

大鹿村議会を初めて傍聴した。

議員からの具体的な数字を示した質問に対し、執行部からの回答はやや抽象的なものであった。

残念ながら大鹿村は入札情報をはじめ、予算に関する重要な事項の公開が十分にはなされていない。

村の今年度予算26.5億円は小さくない。村民1人あたりにすれば300万円を超える。1人あたりでは県内でもっとも多い水準。ちなみに東京都の約5倍である。

議員の姿勢以前に、それだけの予算をくまなく適切に把握し煮詰められる体制を整えなければならない。

十分な情報公開がないうえ政務活動費も無い。情報不足のなかで、調査や提案を議員の手弁当だけで進めるのは無理難題である。

役場も人手不足。であれば尚更、執行部だけで進めず、議員が政策議論に深く関わられるよう、情報公開や議員が働ける環境整備は急務である。

皆で村を良くしてほしい。

また傍聴に行きたい。

編集後記

「議会だより」を多くの皆さんに読んでいただきたく、今回より横書きにしてリニューアルしました。

タイトル文字や、傍聴記など、村民の方にもご参加いただき、ありがとうございました。初めてのことが多く、いろいろと手間取りましたが、なんとか形になりホッとしています。ご意見ご要望などありましたら、お気軽にお申し付け下さい。これからも、開かれた議会を心がけて、お伝えしていきたいと思っておりますので、よろしく願います。⑭

<議会だより編集委員会> 河本明代・田代久夫・伊波ゆかり・松澤武裕・宮崎純平